

平成28年11月

ご投資家の皆様へ

大和証券投資信託委託株式会社

「公社債投信(1月号～12月号)」の運用について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は弊社ファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社運用の投資信託「公社債投信(1月号～12月号)」(以下「公社債投信」)における、現在の運用状況および今後の運用方針等について下記の通りご案内申し上げます。

今後も公社債投信の運用におきましては、ご投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力する所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 現在の運用状況

現在わが国では、日本銀行によるマイナス金利政策を背景に、短期から長期まで幅広い年限の国債利回りがマイナスとなっております。また、余資運用に不可欠なコールローンの利回り(無担保コール翌日物金利)もマイナスとなっております。

このような運用環境の悪化により、公社債や短期金融資産から得られる収益の低下が進み、収益の確保をはかることが徐々に困難になっております。

2. 今後の運用方針等

当ファンドでは、中長期的に安定した収益の確保をめざして安定運用を行うことを基本方針としており、引き続き相対的に価格変動リスクが小さい残存期間1年以下の公社債や短期金融資産を中心に組み入れを行います。そのため、マイナス利回りの公社債や短期金融資産にも投資します。

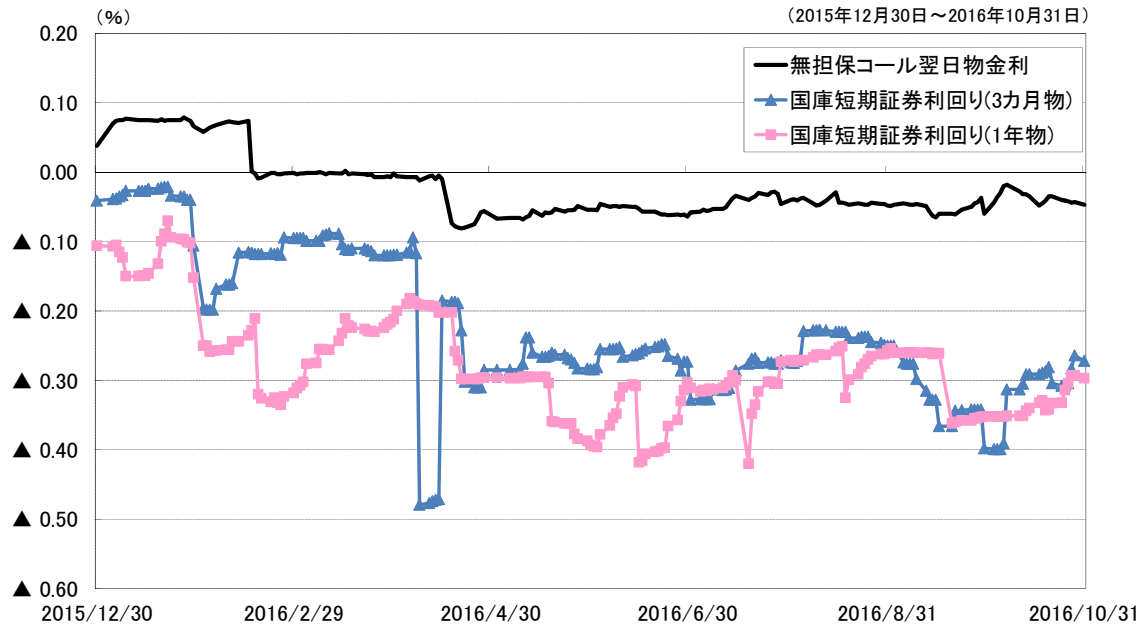
その結果、現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落して投資元本を下回ることが想定されます。ご投資家の皆様におかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

なお、現在の金利水準の例として、無担保コール翌日物金利と国庫短期証券(3カ月物、1年物)の利回りについて、平成28年(2016年)以降の推移を、運用成果の例として分配金の平成19年(2007年)以降の推移を、別紙の通りご案内申し上げます。

以上

別紙

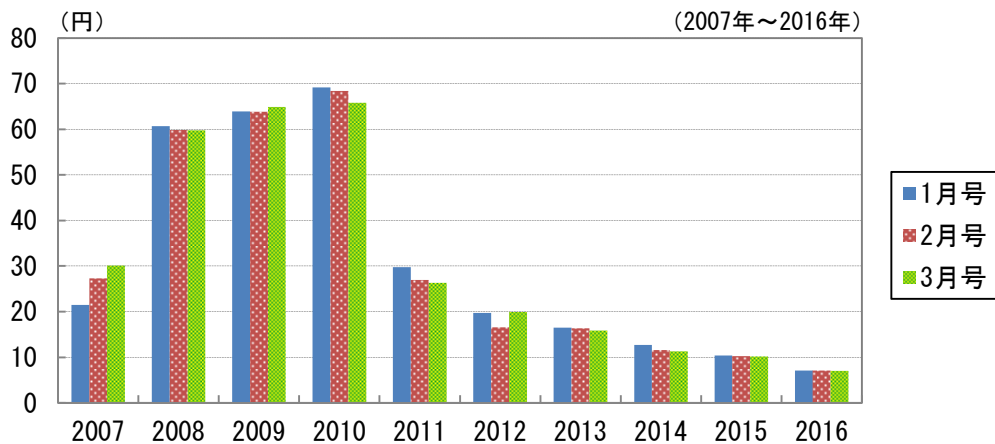
■ご参考① 無担保コール翌日物金利と国庫短期証券利回り(3カ月物、1年物)の推移



(出所)ブルームバーグ

■ご参考② 分配金(1万口当たり、税引前)の推移

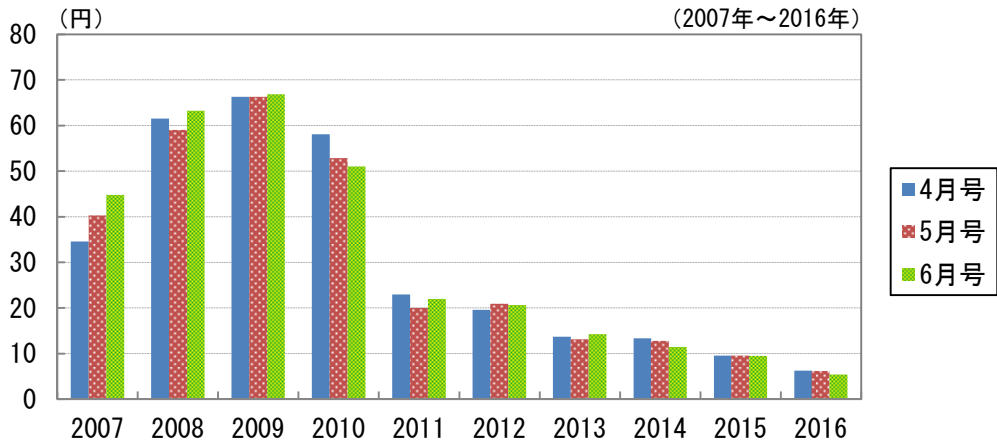
【1～3月号】



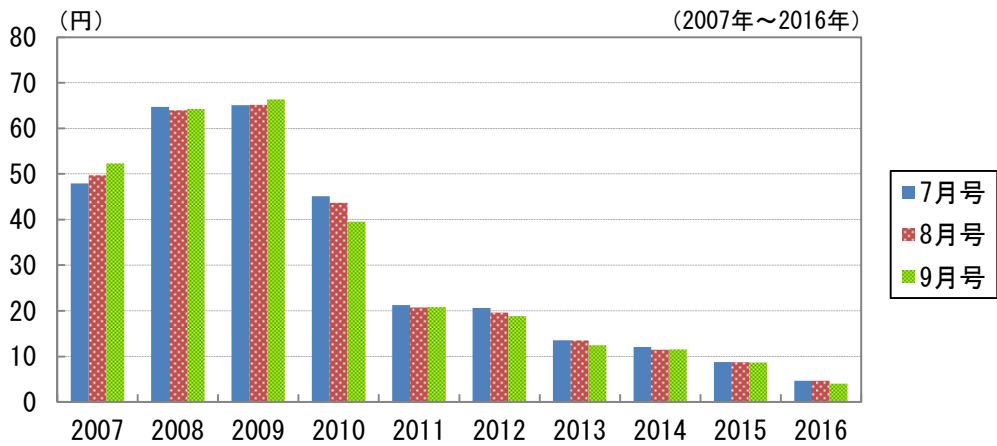
※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

別紙

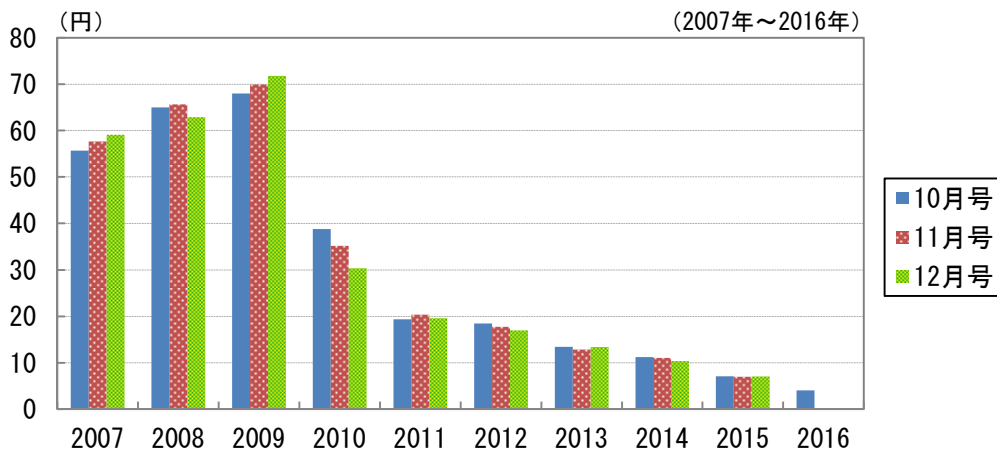
【4～6月号】



【7～9月号】



【10～12月号】



※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。